

答 申 書 (案)

～端野自治区内事業の今後のあり方について～

令和3年11月

端野まちづくり協議会

はじめに

令和3年6月・7月と北海道では「100年に一度」とされる少雨と高温が続く記録的な渇水による災害級の干ばつによって、各地で農作物の生育が停滞するなどの被害がありました。オホーツク管内でもタマネギやじゃがいもの変形・小玉傾向、飼料作物が収量減となるなど農業を基幹産業とする端野自治区にも大きな影響がもたらされました。改めていつ起きるかわからない異常気象への備え、災害に強い地域づくりが必要であると再認識したところです。

北見市は合併から15年を迎え、この間思い描く自治区の姿は「新市まちづくり計画」から「北見市総合計画」、「第2期北見市総合計画」へと引き継がれ、自治区の特性を活かしたまちづくりが進められてきました。

まちづくり協議会は、自治区に関する事項について行政と情報を共有し、住民の立場で意見・要望を行う役割を担っています。

私たち委員はこのまちを誇りに思う住民として、生涯にわたり住み続けていきたいと思えるまちづくりを継続するためにも、日常のコミュニティの中で地域の声を聴き、その声を行政に繋げ、住民の目線に立って議論を行なうことが使命だと感じています。今後とも地域自らの責任と選択による住民自治の推進を図り、地域の特性を活かした個性豊かな活力あるまちづくりを着実に進めていかなければならないと、改めて責務の重さを感じているところです。

令和3年8月に「端野自治区内事業の今後のあり方について」の諮問を受けた当協議会は、第2期北見市総合計画を基本として第4次実施計画に盛り込むべき事業について審議を重ねてまいりました。

答申にあたっては、北見市が置かれている厳しい財政状況を踏まえ、行政改革や財政健全化の視点から、端野自治区の発展に必要な事業について様々な角度から議論を行い、答申書をまとめました。



主な意見として

- 端野自治区の基幹産業である農業の関連事業については、強く予算要求願いたい。
- 大雨などの災害による河川氾濫での内水被害を軽減し、農業の持続的な振興を図るため、早期の排水ポンプ設置を要望する。
- 移動図書館車の運行拡大については、子どもたちの読書環境の整備と読書活動推進のためにも実施を願う。
- 農業者トレーニングセンターの温水暖房機は老朽化が激しく、災害時の避難所にも指定されている施設であるため、突然の故障によって冬期間の利用に支障をきたさないよう早急な更新を願う。
- 市の施設については利用者の利便性を考え、トイレの洋式化はもとより、バリアフリートイレの整備を早期に進めることを要望する。
- 中央橋は幅員が狭く、車両の通行が危険な状態となっていることから、安全性と利便性の確保のため早期の架け替えを願う。
- 新過疎法が施行されたことから、端野図書館改築事業が早期に進められるよう要望する。
- 図書館改築にあたっては、屯田の杜公園と一体的な利用を考慮し、子育て環境や文教地区としての機能をより向上させる整備となるよう要望する。
- 市道整備について地域からの要望書も提出されているが、雨水の排水処理など沿線住宅に支障をきたしている路線の早期整備を要望する。
- 今年のような干ばつがいつ起こるかわからないため、畑地かんがい施設整備事業などは早期かつ計画的に進めるよう要望する。
- コロナ禍による市民生活や地域経済への影響が長期化していることから、地域経済を活性化させる施策を要望する。

などの意見が出されました。

以上のことを踏まえて、8ページから10ページに掲載の「端野自治区要望事業一覧」36事業を採択し、その中でも、特に採択順位や優先順位が高いと考える8事業について、第2期北見市総合計画の基本目標に沿って、その内容や必要性について申し上げます。

基本目標1. 健康で安心して暮らせるまちづくり

【端野デイサービスセンタートイレ洋式化整備事業】

平成4年に建設されたデイサービスセンターのトイレには、現在男性用・女性用ともに洋式と和式のトイレが各1箇所ずつ設置されています。

利用者の多くは身体的に介助を必要とする高齢者であり、立ち座りが困難なことから和式トイレの利用ができず、洋式トイレを利用しなければならないため、混雑時には長い待ち時間が発生するなど、不便負担を掛けている状況です。利用者が安全で快適に使用できるよう、和式トイレの洋式化を強く要望します。



▲端野デイサービスセンター
「早期のトイレ洋式化を」

基本目標2. 豊かな心と文化を育むまちづくり

【端野図書館改築事業】 【屯田の杜公園整備事業】

端野図書館は開館から40年以上が経過し、施設の老朽化が著しくバリアフリー化もされていないため、利便性が非常に悪い状況です。

また、隣接するウォーターパークも水路施設の老朽化が激しく、公園の魅力が低下しています。

図書館改築事業は合併時に策定された「新市まちづくり計画」における主要事業の中で唯一残されている

事業であり、私たち端野まちづくり協議会も視察研修や勉強会を行い、端野自治区として必要な図書館のコンセプト等について意見交換や知恵を出し合い、これまでの答申書の中でも繰り返し早期の事業実施を要望してきたところです。

児童や子育て世代を支援する児童図書館とすることで他の図書館と差別化を図り、合わせて隣接するウォーターパーク・緑地帯（広場）と一体的に整備することで子どもたちの笑い声と笑顔があふれる「賑わい・憩い・交流の場」となり、市内外の人が何度でも訪れたいと思う魅力あるまちづくりの拠点施設となることを期待できます。

令和3年4月に新過疎法が施行され、引き続き有効な財源である過疎対策事



▲現在の端野図書館
と老朽化が激しいウ
ォーターパーク
「早期の整備を」



業債を活用できることになり、機は熟したのではないかと思います。

端野自治区の理念である「まちづくりは人づくり」の考えに基づき、豊かな心を育む人づくり、子育て環境の充実や子どもから高齢者までの多世代交流、文化活動の推進など、誰もがいきいきと暮らせる子育て・教育環境の向上が図られ、そのことが将来このまちを担う人材の育成、人づくりにも繋がっていくものだと思います。そのためにも一刻も早い事業の実施を強く要望します。

基本目標3. にぎわいと活力あふれるまちづくり

【農地排水対策事業】

端野自治区を流れる常呂川には、大雨により河川が増水した際、小河川や水路への逆流を防ぐための施設である樋門が6ヶ所設置されています。

平成28年の大雨災害では農業用施設の冠水や収穫前の農作物が流出するなど甚大な被害を受け、主要な地点(端野右岸樋門、忠志25号樋門、忠志1号樋門)である3ヶ所への排水ポンプの設置について強く要望してきたところであります。

近年は想定規模を超える短時間豪雨が多発しており、今年の8月にも西日本を中心に記録的大雨による農地の冠水被害が発生するなど、いつどこで起こるかわからない自然災害の危険度が増している状況にあります。

こうした浸水被害を軽減するためにも早期の排水ポンプ設置と国による釜場建設を強く要望します。



▲忠志1号樋門

「早期の排水ポンプ設置を」

基本目標4. 自然と調和する安全な住みよいまちづくり

【端野町306号線道路整備事業】 【端野町288号線道路整備事業】

端野町306号線道路は、国道39号と端野町12号線を、端野町288号線道路は、国道39号線と端野町15号線を結ぶ未整備道路であり、どちらも沿線に住宅が立ち並び、地域住民が通行する生活道路です。居住者や通り抜けの車両



▲市道整備事業

「安全安心の住環境の確保を」

が頻繁に通行するため埃が舞い上がり、沿線住宅では窓を開けられない、洗濯物が干せないなど生活環境にも影響が及んでいます。また、道路排水施設がないため大雨時には住宅浸水の恐れがあり、地域からも早期事業実施の要望書が提出されています。住民の不安を払拭し安全安心の住環境が確保されるよう事業の実施を強く要望します。

【端野町7号線道路整備事業】

北見自治区の夕陽ヶ丘道路は東相内地区から小泉地区を結ぶ東9号線が終点となっていますが、現在東10号線までの延伸計画もあり、北見市総合計画におけるまちづくりの基本姿勢の一つである「多核連携型のコンパクトなまちづくり」を求めていくうえで、端野自治区内道路である7号線を東10号線まで延伸し夕陽ヶ丘道路に接続することは、北見・端野両自治区間の効率的な移動を可能とします。



▲夕陽ヶ丘道路の延伸
「より快適な交通環境の確保を」

さらには、路線バス市内線の延伸にもつながれば、商業施設や病院などへの移動がより便利になり、地域住民の利便性の向上が図られるほか、十勝オホーツク自動車道北見東ICへのアクセス路として、広域的な道路ネットワークが補完されることから事業の実施を強く要望します。

基本目標5. 市民による自主自立のまちづくり

【地域生活センター改修事業】

端野自治区には、自治会活動やサークル活動など地域コミュニティの活動拠点である地域生活センターが8館あり、計画的な修繕や工事等により長寿命化が図られてきています。

中には建設から40年以上経過した施設もありますが、災害時には避難所、選挙時には投票所として重要な役割を担う施設であることから、車椅子や乳幼児連れでも利用が可能となるバリアフリースイールの計画的な設置を強く要望します。



▲地域生活センター
バリアフリースイール
「バリアフリースイールの設置を」

むすび

昨年から続いている新型コロナウイルスの感染拡大により、市民生活や地域経済が大きな影響を受け、長引く自粛生活の中で不安を抱える人も少なくありません。これまでの「当たり前」が「当たり前」ではなくなり、新たな「当たり前」への変化に対するストレスは大きく、“ウィズコロナ時代”の中でも安心して日常を過ごせるような市民生活の回復に向けた事業や取り組みが求められています。

また、地域経済においては飲食業に関係する業種への影響は甚大であり、影響の長期化が心配されます。地域経済の活気を取り戻すためにも、感染予防と社会経済活動の両立が図られるさらなる施策の検討と実施を強く要望いたします。

また、端野自治区の課題の一つとして旧端野小・中学校跡地の利活用があります。当該地は事業が進められている一般国道39号（北海道横断自動車道網走線）端野高野道路の近隣に位置し、国道からのアクセスも良く、交流人口の拡大や物流の円滑化、観光産業発展への寄与などあらゆる可能性を秘めています。例えば災害時でも安心して滞在できる「道の駅」の様な地域特産品などの販売施設やトイレ・駐車場の整備、雇用の創出にも繋がる企業誘致など、幅広い視点から活用方法の検討が望まれます。

関連して、東16号から常呂川に架かる「中央橋」は、地域を結ぶ重要な橋であり、地域住民の生活や農作物の運搬などで頻繁な通行があります。しかしながら、幅員が非常に狭く、大型車両の交差が出来ないことや、歩道がないため歩行者が車道を歩かなければならず、非常に危険な状況です。住民の安全安心と利便性の確保のためにも架け替えなどの対応を強く要望します。



新型コロナウイルス感染症に係る各種の支援・対策により、市の財政も厳しい状況と思われますが、私たちまちづくり協議会も行政と共にこの困難を乗り越え、魅力あるまちづくりを進めていきたいと考えておりますので、第2期北見市総合計画～第4次実施計画の策定にあたりましては、この答申を最大限に尊重され、北見市の均衡ある発展に取り組んでいただきますようお願いいたします。

協 議 経 過

・ 端野まちづくり協議会 「端野自治区内事業の今後のあり方について」 開催状況

協議回数	日 時	場 所	内 容
第1回	8月3日(火) 午後7時00分	総合支所	諮 問 端野自治区内事業の今後のあり方について
第2回	10月4日(月) 午後7時00分	総合支所	説 明 諮問から答申までの流れ 議 題 端野自治区内事業の今後のあり方について
第3回	10月19日(火) 午後7時00分	総合支所	議 題 端野自治区内事業の今後のあり方について ～答申書(案)～
第4回	10月25日(月) 午後7時00分	総合支所	議 題 端野自治区内事業の今後のあり方について ～答申書(案)～

端野自治区要望事業一覧

★は優先順位が高いと考える重点事業

1. 健康で安心して暮らせるまちづくり

(3) 支えあう福祉の推進

★ 1	端野デイサービスセンタートイレ洋式化整備事業	和式トイレ2箇所の洋式化工事
2	端野デイサービスセンターろ過器逆止弁更新事業	ろ過器逆止弁の更新
3	端野デイサービスセンター食器消毒保管庫更新事業	食器消毒保管庫の更新

2. 豊かな心と文化を育むまちづくり

(2) とともに学びあう生涯学習の推進

4	端野町公民館整備事業	屋外防水及び外壁（一部）改修工事、照明設備修繕
★ 5	屯田の社公園整備事業	ウォーターパークの整備（測量設計）
6	農業者トレーニングセンター整備事業	暖房温水器改修、アリーナ閉口部改修、自動ドア改修、放送機器改修
7	屯田の社公園改修事業	バーベキューハウス給水管更新
★ 8	端野図書館改築事業	端野図書館改築（建築設計・基本設計）
9	移動図書館運行拡大事業	端野図書館の移動図書館を活用し、図書館利用が困難なサービス空白区域を解消し、全域サービス網の拡充を図る
10	端野図書館改修事業	ガラス破損個所の修繕

(3) 地域文化を育む文化活動の推進

11	姉妹友好都市交流推進事業	丸森町姉妹都市交流事業
----	--------------	-------------

12	端野町公民館文化鑑賞推進事業	グリーンホール（固定席）を活用した一般向け文化鑑賞事業の実施
13	郷土芸能保存交流事業	端野自治区内で継承されている「豊実神楽」と源流である姉妹都市丸森町の「山伏神楽」を小学生に伝承し、伝統芸能を通して歴史文化を学ぶとともに、丸森町との交流を図る

3. にぎわいと活力あふれるまちづくり

(1) 魅力と活力ある産業振興

14	地域おこし協力隊事業(豊北地域農業協力員)	国の制度を活用し、地域就農を目指す農業協力員の導入
15	端野町農業振興センター備品購入事業	施設備品の更新（電気式オープン等）
16	端野町農業振興センター電話機・電話交換機更新事業	電話機・電話交換機の更新
17	土地改良事業市負担金	農業用排水路工事、農道附帯工事
18	農業水路等長寿命化・防災減災事業	協栄ダムに設置している水位計の更新
★	19 農地排水対策事業	常呂川（一区・忠志地区）の樋門への排水ポンプ設置

(2) にぎわいと交流の観光振興

20	端野町交流促進センター施設改修事業	「のんたの湯」施設の改修
----	-------------------	--------------

4. 自然と調和する安全な住みよいまちづくり

(2) 快適な生活空間の充実

★	21 端野町306号線道路整備事業	測量設計、道路改良舗装工事
★	22 端野町288号線道路整備事業	測量設計、道路改良舗装工事
	23 端野町263号線道路整備事業	測量設計、道路改良工事

★	24	端野町7号線道路整備事業	測量設計、用地取得
	25	地籍成果修正事業	基準点測量、現地調査、地図・地籍更正登記のための面積計算、地積測量図等関係図書の作成
	26	道路維持補修事業	道路排水工改修整備
	27	オーバーレイ舗装整備事業	市道舗装のオーバーレイ工事（再舗装）
	28	LED灯切替事業	水銀灯やナトリウム灯からLED灯への切り替え
	29	建設機械更新事業	小型ロータリー車の更新
	30	市営住宅建替事業	親交団地外構整備、緋牛内・東方団地除却解体
	31	市営住宅改善事業	中央団地外壁及び内部の手すり等の改善

(3) 地域の安全安心の確保

	32	河川改修事業	普通河川等の調査設計、護岸改修、法面補修工事
	33	交通安全指導車更新事業	交通安全啓発車両の更新

5. 市民による自主自立のまちづくり

(1) 市民主体の住民自治の推進

	34	端野まちづくりパワー支援補助金	個性豊かで活力ある、住みよい地域社会を構築するために、地域の活性化に向けて住民が「自ら考え、自ら実践する」まちづくり活動事業に対する補助
★	35	地域生活センター改修事業	二区生活センタートイレバリアフリー改修工事
	36	地域生活センター維持補修事業	一区生活センター婦人研修室 畳修繕 二区生活センター婦人研修室・会議室B 畳修繕

◇端野まちづくり協議会◇

【委嘱期間 R2.6.14~R4.6.13】

	氏 名
会 長	中 島 英 樹
副 会 長	土 山 毅
委 員	伊 藤 紀 子
委 員	斉 藤 千 尋
委 員	坂 森 ナ ミ
委 員	桜 井 恵 里 子
委 員	佐 藤 昭 彦
委 員	佐 藤 匠
委 員	真 田 健
委 員	島 正 信
委 員	寺 崎 博
委 員	林 裕
委 員	平 川 千 春
委 員	縦 山 馨
委 員	渡 辺 まゆみ

(会長・副会長を除き、50音順)